

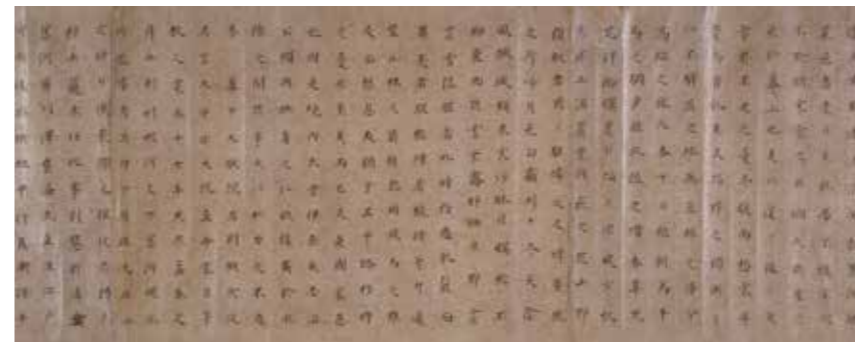
新収蔵品展

1. 小流寺の文化財

しょうりゅうじ 小流寺は浄土真宗の寺院で、現在は西宝珠花にしほうしゅばなに所在します。もとはかみきつま 上吉妻かみきつまにあり、昭和28(1953)年、江戸川改修工事に伴い、現在地に移転しました。令和3年4月22日に市指定文化財となった「木造小島庄右衛門正重坐像もくぞうこじましようえもんまさしげざう」は、小流寺しょうりゅうじ開祖であり、庄内領の新田開発にたずさわった小島庄右衛門正重の像です。「小島庄右衛門墓しょうない」(埼玉県指定旧跡)が小流寺境内に建てられています。「小流寺縁起えんぎ」(市指定文化財)は、江戸川開削や小流寺開基の経緯が書かれた小流寺に伝わる縁起です。「聖徳太子像」は江戸川を漂流してきたとの伝承があります。



小流寺(西宝珠花)



小流寺縁起(小流寺寄託・春日部市指定文化財)



小島庄右衛門墓(埼玉県指定旧跡)



聖徳太子像(小流寺寄託)



木造小島庄右衛門正重坐像(小流寺寄託・春日部市指定文化財)

6. 1964 東京オリンピック

昭和39(1964)年東京オリンピックで、審判補助員を務められた方からご寄贈いただいたものです。日本も含めた多くの国が参加しなかった、昭和55(1980)年モスクワオリンピックの公式記念メダルもご寄贈いただきました。



1964年オリンピック審判補助員制服



日本オリンピック委員会
バッジ



東京五輪ピンバッジ



1964年東京五輪組織委員会
参加記念バッジ



1980年モスクワオリンピック公式記念メダル



1964年オリンピック横断幕

7. プリントゴッコ～覚えていますか？



プリントゴッコ PG-10 と保証書

プリントゴッコは、理想科学工業株式会社より昭和52(1977)年に発売開始、当初より大ヒットし、平成8(1996)年には売上台数1000万台に到達しました。しかしながら平成12(2000)年以降、パソコンや家庭用プリンタの普及により需要が衰退し、平成20(2008)年に本体の販売停止、平成24(2012)年には、消耗品などの販売もおわり事業終了となりました。ご寄贈いただいたプリントゴッコは、平成5(1993)年にロビンソン百貨店春日部店の文具売り場で購入されたもので、ロビンソン百貨店のスタンプが保証書に押されています。

資料寄贈者・寄託者・協力者(順不同・敬称略)

大越 隆司 齋藤 文誉 志村 秀夫 青木 秀雄 高澤 敏雄 中山 雅博 藤本 泉 盛武 博文 金子 博 山田 章
仁賀田 豊 増田 美津子 会田 明彦 栗原 順子 伊藤 栄重 石田 慈洪 佐藤 貞雄 森 和明
宗教法人小流寺



編集・発行 春日部市郷土資料館

春日部市粕壁東3-2-15 (048)763-2455

発行年月日 令和3年(2021)5月18日

2. 春日部の中世



板碑

春日部市では現在までに486本の中世の板碑が確認されています。板碑の多くは立てた年号などが刻まれます。この板碑は、春日部市金崎の旧家の屋敷稲荷にまつられていたものです。全長79cm、幅23cm、キリク、蓮台、花瓶とともに「貞治六年」、「八月廿八日」と刻まれています。貞治六年は、西暦1367年にあたります。

3. 春日部の学校

明治期の教科書は、西金野井学校、幸松村尋常小学校の生徒が使ったものです。県立粕壁中学校は春日部高校の前身で、明治32(1899)年開校、5年制でした。卒業生や関係者の方より、明治44(1911)年の通知表と昭和8(1933)年の学友会の会報をご寄贈いただきました。葛飾中学校椅子は、学校での役目を終えた後、昭和50(1975)年に発掘調査現場で使われていたものです。

4. 村の行政

高札は江戸時代、幕府からの法令を示すために、人々が往来する場所や名主の屋敷内に掲げられました。享保6(1721)年の上蛭田村高札は、幕府の鷹場内で鉄砲を撃つことや鳥をとることを禁じたものです。

昭和4(1929)年の南桜井村議会議案、昭和12~18(1937~43)年の南桜井村報は、南桜井村で発行されたもので、村報には、「戦場便り」など日中戦争当時の様子が書かれています。



上蛭田村高札



小学読本卷四 (明治7年)



尋常小學習字本 (明治28年)



粕壁中学校通知表



粕壁中学校会報



葛飾中学校椅子



南桜井村議会議案



南桜井村報

5. 春日部のまち



かめだぼうさい
←亀田鵬齋書カネコ薬局看板 (江戸時代後期)

「家伝 たんせきのくすり 鵬齋老人書」と書かれます。市内のカネコ薬局に掲げられていたもので、江戸時代後期の儒学者、亀田鵬齋が金子家宿泊のお礼に書いたと伝わります。金子家は代々、七右衛門と名乗り、元禄時代、初代七右衛門が薬屋を創業しました。大正時代には粕壁に開園した「国立薬草園」の創設に十二代七右衛門がたずさわりました。



5玉そろばん

(裏書「三須商店」・「(株)伊勢屋」)

梁の下に5玉あるそろばんです。裏には、店や会社の名前が入るものもあります。現在多く使われる4玉のそろばんは、昭和時代に主流になりました。



往診用薬箱と道具 (江戸時代後期)

往診用薬箱と道具は江戸時代に備後村の在村医が使ったものです。江戸時代、開業医は依頼があれば往診に出向き、往診先で薬を調合し処方しました。



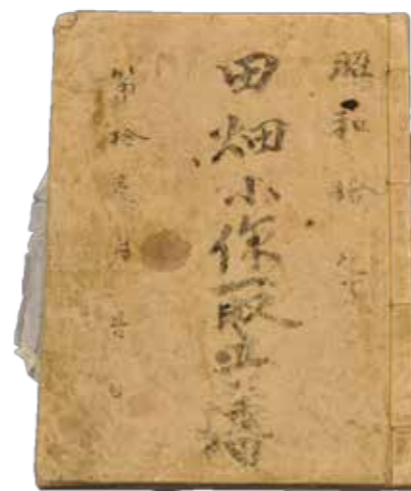
一円紙幣 (大正5年)

兌換紙幣で、表面に武内宿禰、裏面に1円銀貨の図柄が描かれています。



粕壁町八坂神社祭典記念絵葉書 (内出町/陣屋組、仲町・大正10年)

7月15日の八坂神社祭礼(夏祭り)の様子を10枚セットの絵葉書にしたものです。



田畑小作取立簿 (昭和10年)

昭和10(1935)年ごろからの毎年の小作量などの他、農地改革時の記録が記載されています。



一般用米穀類購入通帳 (昭和44年)

市から発給されたものです。米の販売店で米を購入する際に提示する必要がありましたが、昭和44(1969)年の米の自主流通米制度創設とともに形骸化しました。